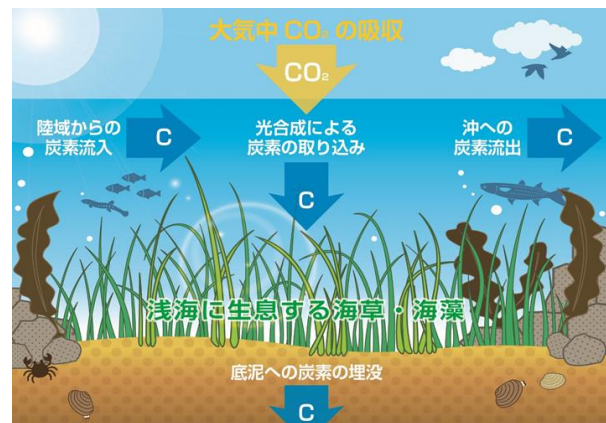




# 生物多様性の保全に資する ブルーカーボン「Jブルークレジット®」の 可能性と活用事例

**Permanent Planet株式会社**  
**代表取締役 池田 陸郎**

# 国内初「Jブルークレジットを活用した 地産地消型カーボン・オフセットのマラソン大会」



## Jブルークレジット®とは

大気中の二酸化炭素が海に吸収され、海底や水中生物などに貯蔵された炭素「ブルーカーボン」をジャパンプルーエコノミー技術研究組合が認証・発行・管理する独自のカーボン・クレジットです。



地元創出のクレジットを活用し  
カーボン・オフセット  
(埋め合わせ)

クレジット活用による開催地域への貢献  
生物多様性保護・気候変動対策への貢献

① 排出量の把握

② 削減努力

どうしても減らせない  
排出量



Jブルークレジット®  
「尾道の海のゆりかご(干潟・藻場)再生による里海づくり」

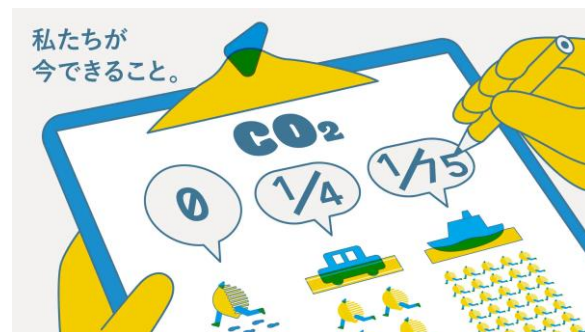
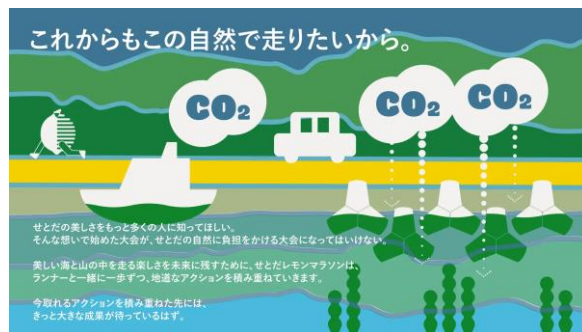
せとだレモンマラソン2025  
参加者移動・宿泊にともなうCO<sub>2</sub>排出量の一部

## 国内のマラソン大会初

Jブルークレジット®を活用した地産地消型のカーボン・オフセットを実施  
ゴールドウイン、ザ・ノース・フェイスが協賛する環境配慮型せとだレモンマラソン2025

## せとだレモンマラソン

株式会社ゴールドウインとアウトドアブランド「ザ・ノース・フェイス（THE NORTH FACE）」は、2025年2月23日（日）に広島県尾道市で開催される「せとだレモンマラソン2025」に特別協賛しています。ゴールドウインが目指す「持続可能な社会」への想いは、同大会がコンセプトのひとつに挙げる「ソーシャルインパクトのある環境負荷の低い大会運営」と一致しており、前回大会に続き今大会においても更なる環境負荷低減を目指します。



TIME TABLE	
18時～19時	ゲストトーク
19時～21時	蔵バー営業
GUEST	
トーク	GOLDWIN 山屋さん
トーク	Permanent Planet 池田さん
ドリンク	Overview Coffee × NOMURA SHOTEN
フード	台湾料理woo
TALK EVENT	
18時～	「せとだレモンマラソンの魅力とは？」 by GOLDWIN 山屋さん × レモンマラソンパートナー 矢崎さん
18時半～	「クリーンなランニング大会のつくり方」 by Permanent Planet 池田さん





## クレジット創出事業のコベネフィットとしての評価額

レモンマラソンで活用された尾道市のプロジェクトは、コベネフィット評価を受けており、**年間1.2億円**の価値があると試算されました。

### 「尾道の海のゆりかご（干潟・藻場）再生による里海づくり」

#### ■プロジェクトの概要

- ・尾道市沿岸域には、航路整備により発生した浚渫土砂を活用して、中国地方整備局により造成された人工干潟が4箇所（合計面積約75ha）あります。
- ・これらの干潟では、生物の種類・個体数の増加や多様な生物の生息が確認されたり、アマモ場が広がっている箇所も見られています。
- ・人工干潟の造成後は、浦島漁業協同組合および尾道市により、干潟・藻場の保全活動（生物生息場の保全活動、清掃活動等）が行われ、継続的な藻場・干潟づくりを行っています。

#### ■プロジェクトの特徴・PRポイント

- ・尾道市沿岸域で再生された人工干潟は約75haと面積が大きく、瀬戸内海における貴重な生物生息場として機能しています。
- ・造成された干潟・藻場は、ブルーカーボンの機能だけでなく、水質の浄化や水産生物の保全・育成による食料供給、環境学習の場の提供などの多様な価値※を有しています。
- ・今後も、干潟・藻場の再生活動を継続するとともに、マリンスポーツを盛り上げる取組「尾道海属」や海事・観光産業との連携により、ブルーカーボンを起点とした地域の活性化を目指しています。

※本プロジェクトによる、造成干潟においての食料供給と水質浄化の経済価値を市場価格法と代替法によりそれぞれ推計したところ、**年間1.2億円程度の価値があると評価されました。**

食料供給	干潟によるアサリの生産量が年間10トン増加 藻場によるメバルの生産量が年間7トン増加
水質浄化	干潟・藻場の生物によるCOD浄化量が年間61トン増加



干潟・藻場の保全活動



地域の活性化

干潟・藻場×コベネフィット



# 多くのランナーが移動し、補給食を摂ることで、 たくさんのゴミが発生します。

ノースフェイスが協賛する湘南国際マラソン、そしてせとだレモンマラオンにおいては、環境課題に対して、マイボトルやマイカップを携行してもらうことで、大幅なゴミの削減を実現しています。  
2024年大会のゴミの排出量は使い捨てカップを使用していた2019年大会と比べて76%削減されています。

### 湘南国際マラソンの取り組み

#### 過去大会の様子 (2019)



▲給水所毎で大量に排出されていた使い捨てカップのゴミ

#### 第17回大会 (2022年12月)

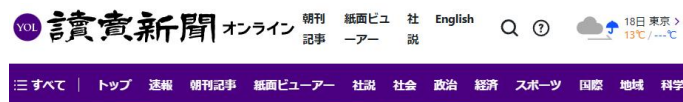


▲マイボトル・マイカップ給水によって給水ポイントのゴミが「0」になった様子



## 地域のブランド化と足並みをそろえる持続可能な大会へ

- ・ エイドステーションにおける紙カップによる給水をやめて**選手のマイボトル携行**を徹底
- ・ 植物原料由来の生分解性のある素材を採用した完走賞タオル
- ・ 前年の大会で「BRING」さんが回収したランナー達の古着をアップサイクルした**参加特典ワッペン**
- ・ 会場のマルシェと後夜祭ではリユース + **水平リサイクル**ができる**アルミカップ**を導入
- ・ 1,300人以上の移動 🚗 🚆 🚢 や大会運営によるCO2の一部を尾道市沿岸の海洋生物の育成によるCO2固定量の価値「ブルークレジット」によってカーボンオフセットしました。



注目ワード #地下鉄サリン30年 #春の甲子園 #東日本大震災14年 #戦後80年の記憶 #大学入試速報

トップ > 地域 > 広島 > ニュース

広島のニュース > 広島の企画・連載 > 広島の観光特集 > 地域コーナートップ >

### 瀬戸田レモン ブランド化前面

2025/02/12 05:00

保存して後で読む



尾道・東京 安全やエコ PR催し次々



尾道市瀬戸田町や東京都内で3月まで、特産の瀬戸田レモンを前面に打ち出したイベントが相次いで開かれる。瀬戸田レモンの名を全国的に知らしめ、ブランド力を高める取り組みが続く。

同町では2024年7月から25年6月までに2400トンの生産が見込まれ、このうち660トンは農業や化学肥料の使用を減らした「せとだエコレモン」だ。栽培に励む「せとだエコレモングループ」は23年10月、農林水産祭の最高賞「天皇杯」に選ばれた。

の排出を相殺する費用を負担し、それを市内の干潟の藻場の再生事業に回すなど、持続可能な大会としてイメージアップを図る。

これを弾みに、皮まで食べられる安全な品質をアピールしようと今年14日まで、食文化の中心地である東京・銀座で、昨年に続き「せとだレモンフェア」を開催中だ。今年は銀座料理飲食業組合連合会に加盟する居酒屋や日本料理店、バーなど計22店でせとだエコレモン40キロを無償提供。各店は肉や魚の料理、菓子などに腕を振っている。

また、今年23日に瀬戸田町内で開く3回目の「せとだレモンマラソン」では、参加予定の1351人のランナーの移動や宿泊などで通常より多い二酸化炭素排出が見込まれる。そこで、今年初めて「ブルークレジット」の仕組みを活用し、協賛企業が二酸化炭素10トン分の

### 山陽新聞

FAGIGATE

トップ 岡山エリア スポーツ 地域別 連載・特集 国内外 オピニオン イベント

### 「せとだレモンマラソン 2025」開催！ 今大会はサステナブルコミットメントを強化

2025年01月09日 15:31 (01月09日 16:30更新)

中国国 広島

保存



BRING による服回収のお知らせ

# せとだレモンマラソンの排出源特定における特徴

- 離島であることから自家用車の来場者が多い
- 親子や友人同士など複数での参加が比較的多い
- フェリー移動がある



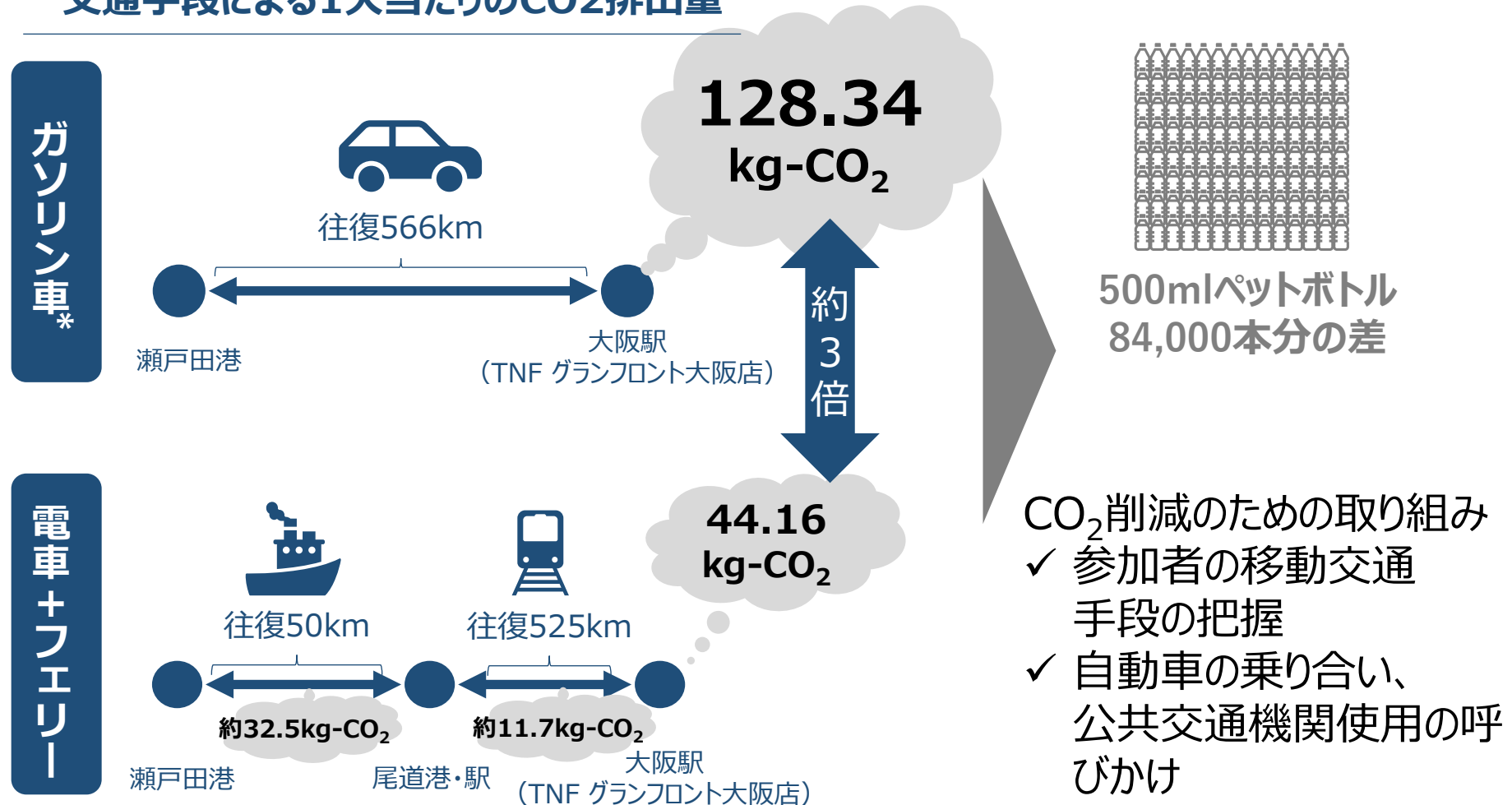
より正確に排出量を把握するには、  
参加者からの情報提供が必要



エントリー時に移動経路や移動形態が  
把握できる設問を設置

# 参加者の交通手段の違いによるCO<sub>2</sub>排出量比較

## 交通手段による1人当たりのCO<sub>2</sub>排出量



\*燃費は燃費法により算出



# より正確なCO2排出量把握のために、 本大会で新しく設置した質問事項

- 自動車移動についてより詳しく  
（自分で運転、応援者・参加者に乗り合いごとの把握）
- 航空機利用の有無
- 宿泊数の把握



当初想定していたこと・・・

車の乗り合いが把握できることで、大幅に排出量がさがる  
遠方参加者は自動車のみの移動は少数である

# 【結果】

## 2025年大会におけるCO2排出量

- 移動および宿泊に伴うCO2排出量
- 参加者および運営者を含む1360データ

### ■ 移動による排出量

92 t-CO2 (67kg-CO2/1人当たり)

### ■ 宿泊による排出量

28.5 t-CO2

# 【結果】 排出量の多くを占めたのが自動車移動でした

県名	交通手段	人数	片道距離 (km)	往復距離 (km)	CO2排出量(kg-CO2)
広島県	自動車のみ	380	112.0	224.0	19,300.55
岡山県	自動車のみ	52	109.0	218.0	2,570.38
愛媛県	自動車のみ	61	85.4	170.8	2,362.41
大阪府	自動車のみ	23	278.0	556.0	2,899.62
神奈川県	自動車のみ	7	749.0	1,498.0	2,377.65
東京都	自動車のみ	26	806.0	1,612.0	9,503.35

## ステップ2 削減努力

今後の取組として・・

- ✓ 来場者への啓発（乗り合いの励行）
- ✓ 自動車だけの移動数の正確な把握方法の検討
- ✓ 遠方からの自動車来場者へアンケート  
＝理由を知ること対策が立てられる可能性あり
- ✓ 乗り合い移動者への特典など

【想定外だったこと】  
首都圏から自動車のみで  
移動される方が意外に多く、  
一人当たりの排出量の増  
加が見られました。





北海道  
ぎょれん

「令和6年度道ぎょれん会取引先懇談会・懇親会」  
Jブルークレジットによるカーボン・オフセットの取組について

道ぎょれん会開催による環境負荷を把握、開示し、削減努力を行うとともに、漁場の保全活動などから創出されたクレジットでカーボン・オフセットすることで、豊かな海づくりを支援します。



# 積丹のウニ殻利用による藻場再生

※その他2プロジェクトを活用



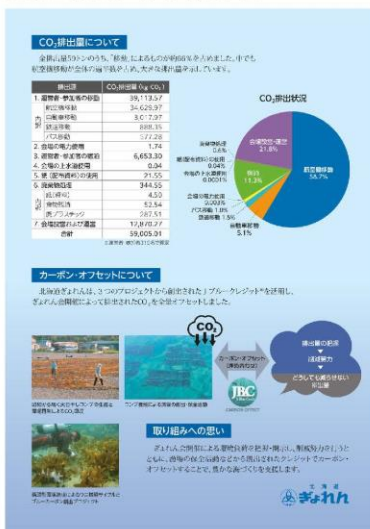
## CARBON OFFSET

カーボン・オフセット  
(埋め合わせ)

## 排出量の把握

## 削減努力

どうしても減らない  
排出量



北海道漁業協同組合連合会 総務企画部 (担当: 小笠原)  
TEL 011-281-8560 (平日9:00 ~ 16:30)



## 懇談会開催による排出源

- ✓ 運営者・参加者の移動
- ✓ 会場の電力使用
- ✓ 運営者・参加者の宿泊
- ✓ 会場の上水道使用
- ✓ 紙の使用
- ✓ 廃棄物処理
- ✓ 会場設営および運営



「令和6年度道ぎよれん会秋季取引先懇談会・懇親会」  
Jブルークレジット®によるカーボン・オフセットの取組について

北海道ぎよれんは、生物多様性の保全と持続可能な海づくりを目指し、Jブルークレジット®によるカーボン・オフセットを実施しました。

### Jブルークレジット®とは

大気中の二酸化炭素が海に吸収され、海底や水中生物などに貯蔵された炭素「ブルーカーボン」をジャパンブルーエコノミー技術研究組合が認証・発行・管理する独自のカーボン・クレジットです。

日本各地において、漁業者をはじめとする多くのプロジェクトからクレジットが創出されています。



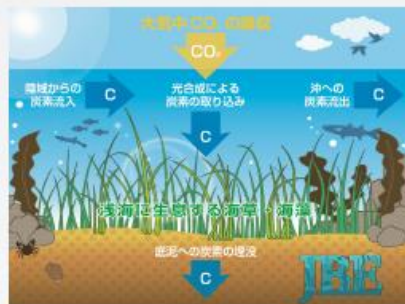
コンブ養殖による  
藻場の創出・保全活動



コンブを活用したBC事業  
～日本のだし文化を守る取り組み～



人工リーフにおける  
藻場づくりと漁業振興



### クレジット活用による海への貢献

- 創出者の新たな資金源の確保・持続可能な漁業活動
- クレジット活用による海洋環境改善活動の支援・気候変動対策への貢献
- 生物多様性の保護



### カーボン・オフセットについて

道ぎよれん会は、取引先懇談会・懇親会開催によるCO<sub>2</sub>排出量を、Jブルークレジット®でカーボン・オフセットすることにより、CO<sub>2</sub>を間接的に削減し、海洋環境改善活動を支援します。



### 各会場ごとのCO<sub>2</sub>排出状況

道ぎよれん会秋季取引先懇談会・懇親会の4会場すべてのCO<sub>2</sub>排出量は、約29t-CO<sub>2</sub>、参加者一人当たりすると約80kg-CO<sub>2</sub>となりました。

会場名	開催規模	CO <sub>2</sub> 排出量(t-CO <sub>2</sub> )
東京会場	190	13.70
大阪会場	50	5.37
東北会場	70	4.23
九州会場	50	5.53

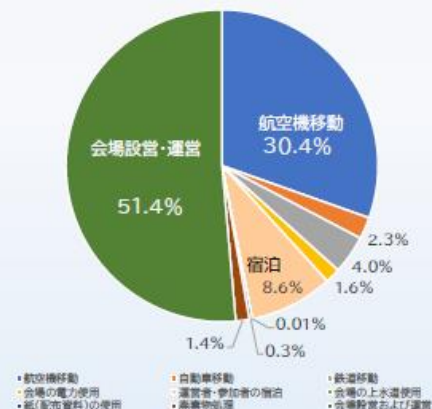


### CO<sub>2</sub>排出量内訳について

排出量内訳は会場設営及び運営によるものが約51%、航空機を含む移動によるものが約37%となっています。

排出源	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )
1. 運営者・参加者の移動	10,568.91
内訳	
航空機移動	8,769.87
自動車移動	651.53
鉄道移動	1,147.51
2. 会場の電力使用	453.80
3. 運営者・参加者の宿泊	2,491.05
4. 会場の上水道使用	2.97
5. 紙(配布資料)の使用	89.92
6. 廃棄物処理	400.05
内訳	
紙(資料)	16.96
食物残渣	59.19
廃プラスチック	323.90
7. 会場設営および運営	14,818.29
合計	28,824.99

### CO<sub>2</sub>排出状況



### 取り組みへの思い

道ぎよれん会開催による環境負荷を把握・開示し、削減努力を行うとともに、海を生業にする私たちの責任として、環境を守っていくということが我々の使命です。これからも、皆さまとともに、持続可能な海づくりを進めてまいります。



持続可能な海を次世代へ。  
北海道ぎよれんは、SDGsの目標達成を支援しています。





# Jブルークレジット無効化通知書

J ブルークレジット\*無効化通知書様式

Ver.0.6

無効化通知書

発行年月日（西暦）

2024 年 8 月 16 日

北海道漁業協同組合連合会 殿

（法人番号： 4430005002886 ）

ジャパンブルーエコノミー技術研究組合

J ブルークレジット制度管理事務局

無効化申請書に基づき、J ブルークレジットクレジット管理簿に以下の内容が記載・記録されましたので、お知らせします。

無効化年月日：2024 年 8 月 16 日

無効化クレジット情報

シリアル番号： 202402JBCT00005-01873 から 01926 まで

数量 [t-CO<sub>2</sub>]： 5.4

プロジェクト番号： 202401JBCT00005

プロジェクト名： コンブ養殖による藻場の創出・保全活動「北海道ふくしま町“青×蒼”プロジェクト」

事業者記入（転記）欄（J ブルークレジットクレジット管理簿には記載されません。）

（無効化申請書の記載を転記したものであり、当組合においてこれを確認・証明するものではありません。）

2024 年 8 月 28 日に大阪で開催される道ぎょれん会の会場電力、参加者および運営者の移動と宿泊、会場の上水道使用、資料配布、廃棄物処理、会場設営と運営に伴う CO<sub>2</sub> 排出量を全量オフセットするため。

# Jブルークレジット・カーボンオフセット証書



CARBON OFFSET

## J ブルークレジット・カーボンオフセット証書

J-Blue Credit - Carbon Offset Certificate

北海道漁業協同組合連合会 殿

Hokkaido Federation of Fisheries Cooperative Associations

以下のとおり、カーボンオフセットが実行されたことを確認します。

This is to certify that you carried out carbon offsetting using the following credits.

CO<sub>2</sub> 排出量 5.4 t - CO<sub>2</sub>  
Emission of CO<sub>2</sub>  
CO<sub>2</sub> 無効化量 5.4 t - CO<sub>2</sub>  
Amount of CO<sub>2</sub> offset

オフセットの対象：  
Scope of offsetting 2024年8月28日に大阪で開催される道ぎょれん会の会場電力、参加者および運営者の移動と宿泊、会場の上水道使用、資料配布、廃棄物処理、会場設営と運営によるCO<sub>2</sub>排出量  
The CO<sub>2</sub> emissions from electricity usage at the venue, transportation and accommodation for participants and organizers, water supply usage at the venue, distribution of materials, waste disposal, and venue setup and operations for the "Hokkaido Gyoren Kai" event to be held in Osaka on August 28, 2024.

クレジットの種類：  
Type of credit Jブルークレジット  
J-Blue Credit

プロジェクトの名称：  
Project name コンブ養殖による藻場の創出・保全活動「北海道ふくしま町“青×蒼”プロジェクト」  
Creation and conservation efforts of seaweed bed for kelp farming "Fukushima Town, Hokkaido "Blue x Blue" Project"

プロジェクトの種類：  
Type of the project 自然系炭素除去  
Nature-based carbon removal

クレジット発行番号：  
Credit issue number 202402JBCT00005-01873 ~ 202402JBCT00005-01926 (5.4t-CO<sub>2</sub>)

クレジット無効化年月日：  
Date of offsetting 令和 6 年 8 月 16 日  
August 16, 2024

証書発行日：  
Date issued 令和 6 年 8 月 16 日  
August 16, 2024



国土交通大臣認可法人  
ジャパンブルーエコノミー技術研究組合  
Japan Blue Economy Association

The Japanese Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism-approved Collaborative Innovation Partnership



JBCT2024081600008



## 自社創出のクレジットを地元自治体主催の環境イベントへ提供。自治体との共同オフセットを実施（J-POWER）



**消防防災フェスティバル 同時開催**  
at 第一カッターさいる公園

未来へつなごう！環境にやさしいまち

### ちがさき環境フェア2024

11/10(日) 10~15時  
場所：茅ヶ崎市役所  
雨天決行（一部中止）、荒天中止

CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロで開催

**スペシャルイベント**  
事前申込制《先着順》  
申込受付：10/1(火)～10/25(金)  
詳細・申込はこちら

**おもしろ環境教室 事前申込制《抽選》**  
申込受付：10/11(金)～10/24(木)  
詳細・申込はこちら

**気象キャスター山神さんと考える地球温暖化**  
山神明理（気象予報士・防災士）  
日本テレビ「DayDay」気象キャスター  
【対象】小学生と保護者  
【定員】100名

**日産わくわくエコスクール EVモデルの作り**  
【対象】小学生と保護者  
【定員】各回16組

**カードゲームでエコクッキング & ガス管で万華鏡工作**  
【対象】小学生と保護者  
【定員】15組

**アロハシャツリサイクルブース**  
ハワイ州ホノルル市・郡姉妹都市 友好協定締結10周年  
着られなくなったアロハシャツ等をリユース・リサイクルして配布します。  
【協力】WE21ジバンチがさき

**カーボンオフセットでCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ**  
Jブルークレジット®を用いてCO<sub>2</sub>をオフセットすることで、カーボンニュートラルによる環境フェアを開催します。  
※Jブルークレジットとは、国土交通省により設立認可されたジャパンブルー・クレジット（JBC）から認証・発行されるもので、CO<sub>2</sub>排出量をオフセットするためのクレジットです。  
【協力】J-POWER 電源開発株式会社

（お問い合わせ先）茅ヶ崎市 環境政策課 TEL 0467-81-7176 詳細はこちら

※イベント開催中に職員が撮影する写真は、市ホームページや広報紙等に掲載することがあります。ご了承ください。

### ちがさき環境フェアについて

ちがさき環境フェアのテーマは「未来へつなごう！環境にやさしいまち」

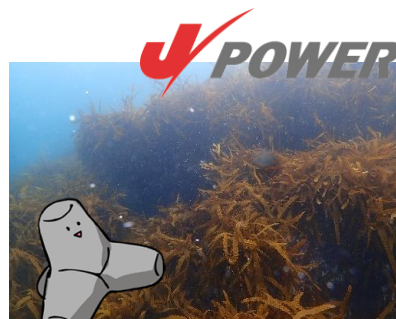
大人も子どもも、楽しみながら未来の暮らしと地球環境のために、自分でできることを発見できるイベントです。

市民活動団体や事業者、行政などが、日ごろの環境に関する取り組みを、パネル展やワークショップを通して、紹介しています。

また、今回のちがさき環境フェアは、電源開発株式会社にご協力いただきカーボンオフセット（二酸化炭素排出量実質ゼロ）にて開催します！

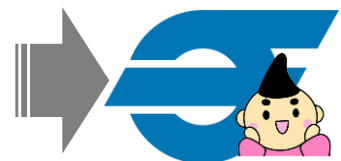
参加者は、来て！見て！体験して！学べます。

茅ヶ崎市HP、Instagramより



「J-Power若松総合事業所周辺護岸に設置したブロックによる藻場造成プロジェクト」

「ちがさき環境フェア2024」へ協賛として譲渡



譲渡クレジットでオフセット実施

chigasaki\_packer · フォローする  
神奈川県 茅ヶ崎市

chigasaki\_packer 18週間前  
【環境フェア】

ちがさき環境フェアのテーマは「未来へつなごう！環境にやさしいまち」

大人も子どもも、楽しみながら未来の暮らしと地球環境のために、自分でできることを発見できるイベントです。

市民活動団体や事業者、行政などが、日ごろの環境に関する取り組みを、パネル展やワークショップを通して、紹介しています。

また、今回のちがさき環境フェアは、電源開発株式会社にご協力いただきカーボンオフセット（二酸化炭素排出量実質ゼロ）にて開催します！

いいね！19件  
2024年11月5日



地元への環境貢献  
市民への普及効果



#### 免責事項

本資料は営業提案を目的に当社が作成したものです。記載されている情報は資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されており、市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。また、本資料に記載されている市場情報などに関わる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性および完全性について保証するものではありません。本資料に記載されている情報はその実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の権利は当社に属しており、無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。